

### 3年生社会科見学の感想

○歴史民俗資料館では、「はがま」を昭和30年ごろまで使っていたことを教えてもらいました。歴史民俗資料館があるのは、中野区の昔のことをもっと知ってほしいからだと思います。高橋 梨里

○ぼくは、社会科見学で東京メトロ中野工場へ行って、電車の修理があんなにむずかしいとは思いませんでした。電車を黄色い台車で動かしていたことに、びっくりしました。野嶋 隼太郎

○わたしはいつもふつうに電車にのっているけれども、その電車を東京メトロ中野工場で修理をしているとは知りませんでした。もっと中野区のことを知りたくなりました。裴 世希

○東京メトロ中野工場の方は、夜もねむらないで働いている時もあると聞いて、すごくがんばっているのだなと思いました。中野区に東京メトロ中野工場があってすごいと思います。山田 央

○ぼくがおどろいたことがあります。それは運転席の前についているドアです。もしこしょうしたら前から出て電車を検査したりお客さんをひなんさせるたりするそうです。和田 侑斗

○わたしがすごいと思ったのは、消防士さんが30秒台で着替えることができることです。ふつうの服よりも数が多いのにすごいなと思いました。菅谷 優菜

○今回の社会科見学で中野区のことをたくさんわかりました。東京メトロでは電車の仕組みが分かって、れきしみんぞくしりょうかんでは中野区の歴史について分かったのでよかったです。消防署では消防車にこんなひみつがあったんだと思いました。これからたくさん知りたいです。川島 和也

○消防署の人が大切にしていることは「基本」だそうです。基本をやらないとほかのこともできないからです。わたしも消防士さんみたいに役に立ちたいなと思いました。浅沼 萌果

### 図工の取り組み「全国学校図工・美術写真公募展」について

昨年に引き続き、4年生がデジタルカメラを使って自分の作品を撮影する授業を9月に行いました。今年は、「すてきなイス」という題材。テーマを決めて、イスとそこに座る人形をつくり、それを撮影する授業でした。図画工作科の学習では、「つくる」と「みる」が両方大切にされています。カメラで撮影をするという行為を通し、子どもたちは「どこで」「どこから」「どんな風に」「どうやって」撮影するのかをよく考え、試行錯誤を繰り返しながら自分の作品や身近な風景の魅力を再発見していきます。

今年もAPA日本広告写真家協会から1人1台カメラをお借りし、プロカメラマン5名の方にゲストティーチャーとして指導をしていただきました。そして授業後、各自が撮影したたくさんの写真からベストショットを選び、「全国学校図工・美術写真公募展」へ全員分の作品を応募しました。1月に入り、審査結果が届きましたので、この場を借りてご紹介します。

●奨励賞：神藤 航太さん・下樂 七都さん・堀内 幹太さん

●入 選：大瀧 壮さん・櫻井 乃愛さん、中野 さらささん、浅見 剛史さん、篠藤 伶さん

入賞作品は、3月15日(日)～25日(水)までの間、白金台にあるAPAギャラリーに展示されます。また、「始めよう、カメラの授業!6」という図録テキストにも掲載されます。この図録に使われている撮影風景の写真には、谷戸の4年生が授業をしている様子も掲載されています。

これを機会にぜひ美術館へ足を運んでみてください。

1月8日（木）9日（金）

### 席書会



席書会が行われました。

1年生と2年生は硬筆で、3年生～6年生は毛筆でそれぞれ学年ごとの課題に取り組みました。

静けさで張り詰めた空気のもと、みんな集中して課題に向き合い書いていました。どの作品も、一人一人の真剣さが伝わる作品ばかりで、新年の意気込みを感じることができました。

1月15日（木）

### ひだまりコンサート



和太鼓教室とひだまりコンサートが行われました。

和太鼓教室では6年生が学級ごとに大太鼓を習いました。「豊年太鼓」という曲目を練習し、授業の終わりにチームごとに発表しました。

5時間目のひだまりコンサートでは、午前中に教えていただいた和太鼓チーム「あかつき」の方々の演奏を聴きました。迫力満点の演奏を間近で聴くことができ、日本伝統の太鼓に親しみました。

1月22日（木）

### 手染め友禅



4年生が伝統工芸品である「東京手染め友禅」の体験授業をしました。

最初に東京手染め友禅の概要、生地や染料、染め方の説明を伺いました。その後、実際に絵柄に色をさすという体験しました。